

令和7年度事業報告

概要

長引く物価上昇の影響により実質個人消費が伸び悩み、当センターにおける個人や企業からの発注への影響が懸念される中、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、働きがいを見つけ、地域社会に一層の活力を生み出し、多様化する地域のニーズに応えるべく、新規会員の加入促進を図り、就業機会の確保や新たな就業先の開拓に努め、安全・適正就業対策を実施するとともに、新たな法制度に対応すべくデジタル化に向けた取り組みをさらに進めることで、センター機能の強化に努めた。

① 受託事業・労働者派遣事業

受託事業は、昨年度に比べると、受託件数や延日人員等はやや減少したものの、請負に係る算定基礎単価の見直し等により配分金は170万円ほど増加した。なお材料費が減少した関係で、契約金額は昨年度比99.4%で約80万円減の1億2,030万円余りとなった。

一方で派遣事業については、就業延人員が昨年度比101.1%で1万2,900人ほどとなり、また新規開拓等による新規契約や最低賃金の改定等の影響で、契約金額は昨年度比113.2%で約1,180万円増の1億90万円余りとなり、初めて1億円を超えた。

② 調査研究

公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会（以下「県連合会」という。）等主催の各種研修会・講習会に参加し研鑽に努め、事業の推進・強化を図った。

また、フリーランス新法への対応に向け事務の効率化が図られるよう、センターのデジタル化を進める目的で昨年度導入した、センターと会員の間で情報をやりとりできるコミュニケーションツール「Smile to Smile」への利用登録をさらに推進し、会員向けのスマートフォン教室を昨年度に引き続き実施した。

③ 普及啓発

地域住民、事業所などに対しシルバー事業の活用並びに会員の加入促進を図るため普及啓発に努めた。

- ☆ 会報「第65号」「第66号」を発行し、会員、関係機関、公民館などに配布
- ☆ カレンダー等啓発資材を配布
- ☆ ホームページ等での情報発信による普及啓発の実施

- ☆ 普及啓発月間（10月）に合わせ「銭形砂絵」内の除草ボランティア活動を実施
- ☆ 県連合会主催の女性会員拡大イベント（シルボンヌ in 香川2025）に女性会員及びその友人等34人が参加するとともに当センターのブースでPR活動を実施
- ☆ シルバー事業の啓発や会員拡大につなげることを目的に、広報かんおんじ及び市社会福祉協議会の情報誌えがおへの広告を掲載

④ 安全・適正就業

安全就業については、会員とともに県連合会主催の安全に関する研修会・教室等に参加し、安全意識の向上に努めるとともに、適時就業先を訪問し安全指導を実施、就業中及び就業途上の事故防止に配慮した。なお、新たに「熱中症対策救急対応フロー」を作成し、熱中症予防に係る注意喚起を行うとともに、7月を「安全・適正就業強化月間」、「事故防止強化月間」とする県連合会と連携し、その普及啓発に努めた。

適正就業については、県連合会が作成した「適正就業ガイドライン」を遵守すべく、発注者・会員に周知を図り、請負として適正でない契約については発注先に対し派遣契約への転換を依頼した。また、「共働・共助」の意識を高め、ワークシェアリングによる会員のローテーション化を進め、公平な就業機会の提供に努めた。

⑤ 会員の増強

年度当初の更新時に、加齢、体調等の理由により数多くの会員が退会したが、定期的に入会説明会を開催し、就業を斡旋することで新たに38人が入会し、結果として入会者数と退会者数が同数で、年度末の会員数が昨年度末と同数の310人となった。

今後も適切な就業の斡旋や新たな就業先の開拓に努め、会員の満足度アップを図り、特に年度当初に退会する会員の減少に向けた取り組みが必要である。

☆ 令和6年度末 310人 （当初退会） 38人
 (入会) 38人 (途中退会) 0人 令和7年度末 310人

⑥ 諸会議の開催

当センターの維持運営の執行に関して必要な会議を、次のとおり開催した。

☆ 定 時 総 会	令和 7年 6月 5日	開催
☆ 第1回 理事会	令和 7年 5月15日	開催
☆ 第2回 理事会	令和 7年10月29日	開催
☆ 第3回 理事会	令和 7年12月19日	開催
☆ 第4回 理事会	令和 8年 3月25日	開催